

感謝祭&ブラックフライデー ～米年末商戦スタート

2017年11月20日(月)

23日は米国の感謝祭(サンクスギビング)。
翌24日はブラックフライデー、米国の年末商戦スタートとなります。
なお、24日は祝日ではありませんが、週末と合わせて連休を取るケースが多く
株式・商品などは短縮取引で、為替も祝日のような動きになることが多いです。

注目はブラックフライデーでの景気動向。
全米小売業協会(NRF)は、今年の年末商戦について
前年比3.6%～4.0%増になるという見通しを発表。
比較的堅調ですが、
昨年の4.0%増から若干鈍化から横ばいという見通しです。
なお、ハリケーンによる影響が不透明ということで、
例年とは違い、レンジでの予想となっています。

オンラインでの売り上げ(こちらのセールは27日月曜日のサイバーマンデーから)は
前年比11～15%増が期待されており(昨年は12.6%増)、
こちらと合わせるとかなりの好調さを維持という印象です。

米GDPの約7割を占める個人消費の動向をみるうえで
1年で最も売り上げが上がるといわれているブラックフライデーの状況は重要ですので
報道などには注意したいところ。
とはいえ、実際にデータとして出てくるのは少し先。
今週の取引としては、
木曜日が米国市場が休場、金曜日にも実質的に休場に近い形で
週の後半にかけて取引が少ない点に注意したいところです。

比較的祝日の多い米国ですが
祝日でも外国為替市場に関しては、そこそこ参加者が残っていることが多いです。
しかし、感謝祭、クリスマス、イースターに関しては
お休みをきっちりとするケースが多いですから
気を付けたいところです。

その他イベントとしては、
22日のFOMC議事録(10月31日、11月1日開催分)に注目。
12月のFOMCでの利上げがほぼ確実視される中、
前回のFOMCでどのような議論があったのか。
12月はともかく、来年以降の利上げについて、どのような話が出てきたのか
などが注目されることです。

その前日21日(日本時間では22日朝)には
イエレン議長によるNY大学スターン・ビジネススクールでの講演が予定されています。
質疑応答の時間なども設けられており
来年2月にイエレン議長が退任して以降のFRBについての
イエレン議長なりの見通しなどにも
言及がある可能性があります。
次期議長となるパウエル理事との
方針の差は小さいといわれていますが
イエレン議長がどのようにとらえているのかなどが注目されます。

政治リスクが意識される英国に関しては
22日にメイ首相が参加する党首討論会や、議会での質疑応答
秋季の財政報告などが予定されています。
ブレグジット問題に関して、指導力が疑問視され
与党内から退陣要求が出ている状況で
メイ首相がどのような姿勢を示すのかなどが注目されること。
政治リスクがさらに強まるようだと、ポンドの売り材料となります。